

環境マネジメントシステム 活動報告書

令和 6 年度



亀岡市役所



目 次

1	亀岡市役所温暖化対策基本方針	1
2	目的・目標	2
3	組織図	3
4	温室効果ガス排出量（CO2換算）	4
5	令和6年度環境マネジメント調査結果	5
6	効果の確認	1 1
7	施設のエネルギー使用量について	1 2
8	マネジメントレビュー（温暖化対策総括者による見直し）	1 3
9	令和6年度の主な取組	1 3

亀岡市役所温暖化対策基本方針

基 本 理 念

地球温暖化は世界的に年々深刻化しており、平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇等が観測されています。日本においても平均気温の上昇のほか、暴風雨などによる被害の深刻化、農産物や生態系への影響等が出てきており、地球温暖化を防止することは世界共通の重要な課題となっています。亀岡市では2021年2月に「かめおか脱炭素宣言」を表明し、2050年までに市内から排出される二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを目指しています。

地球温暖化による環境問題の解決に向けて、市民、事業者、行政などすべての関係者の参加と協働のもと、それぞれが意識を持って温室効果ガスの排出抑制に努め、豊かな自然環境を未来につなげる持続可能なまちづくりを進めていくことが必要です。

亀岡市役所は、市内の温室効果ガス排出量が比較的大きい事業所であり、自らの事務・事業により排出される温室効果ガス排出量の実質的な削減に努める必要があることから、脱炭素化に向けた取組を定め、率先的な取組を行うことにより、地域の模範となる地球温暖化対策を推進します。

行 動 指 針

亀岡市は、基本理念の実現に向けて次の取り組みを推進します。

1. 脱炭素化の実現へ向け、市の事務・事業における温室効果ガスの総排出量を削減します。
2. 施設等におけるエネルギー（電気、燃料、熱等）の使用量を削減するとともに、電気需要の最適化に努めます。
3. 公共施設への再生可能エネルギーの導入率を100%とすることを目指し、再生可能エネルギーの利用を促進します。
4. 公共施設の省エネルギー機器への更新を推進します。
5. 2030年までに、公共施設のLED照明の導入率を100%にします。
6. 公用車の更新、導入にあたっては電気自動車・ハイブリッド車・燃料電池車等の低公害車を積極的に導入します。
7. エコドライブの取組等を通じて、公用車及び通勤車における燃料使用量を削減します。
8. 熱中症対策として指定暑熱避難施設の指定を促進します。
9. 市の事務・事業におけるごみの排出量を削減します。
10. 温暖化対策基本方針及び本システムの運用成果は、随時公表します。

【亀岡市役所温暖化対策環境マネジメントシステムが目指すSDGs】



令和7年 4月 1日

亀岡市長 桂 川 孝 裕

目 的

●本システムの目的

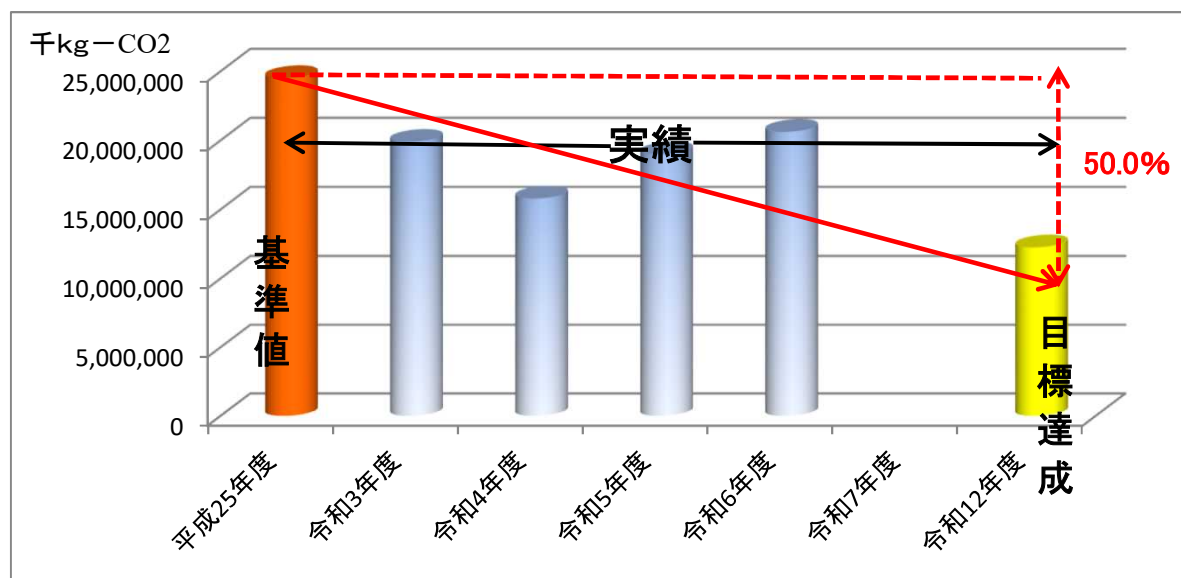
市役所の事務・事業における地球温暖化対策の推進

目 標

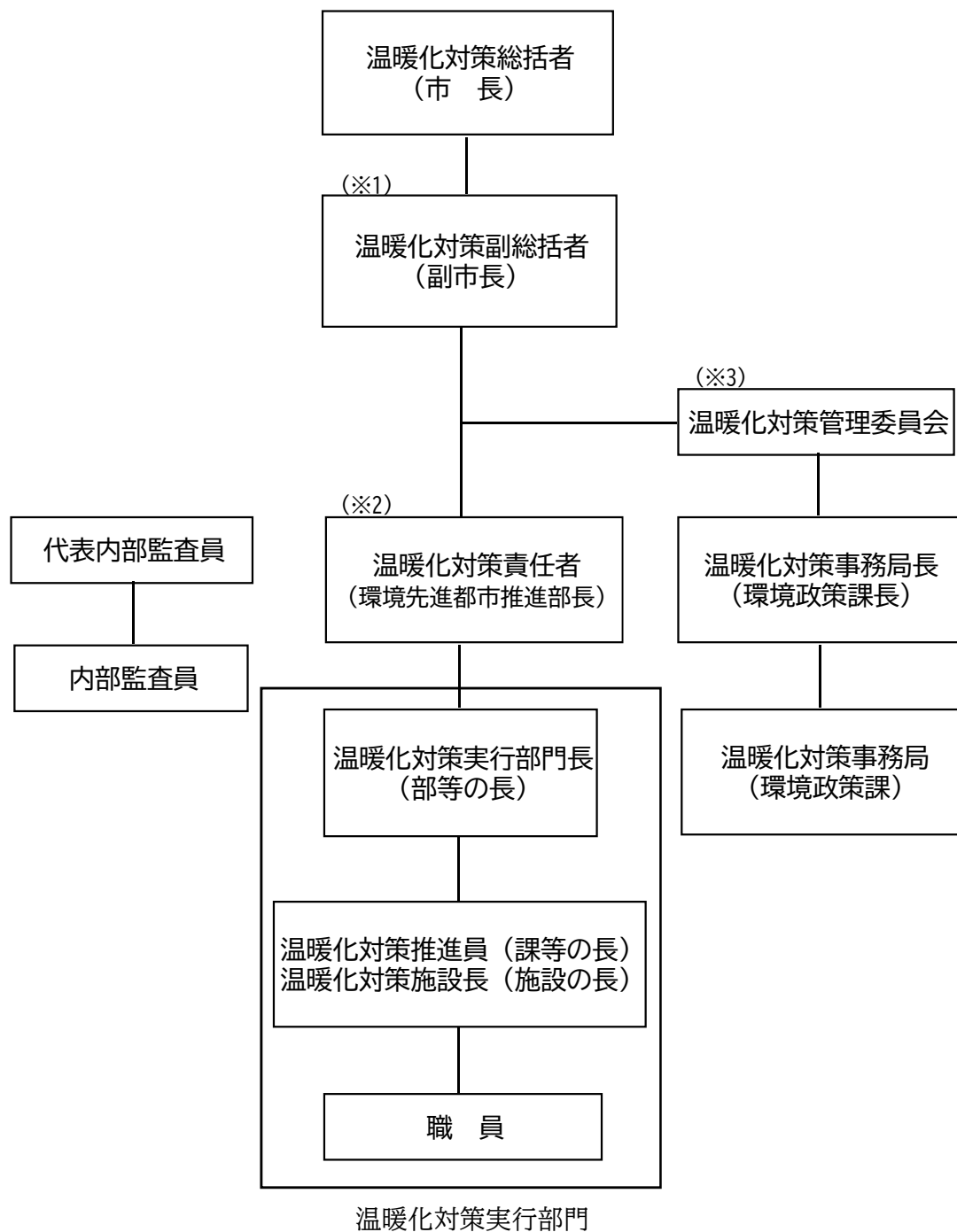
●法令に基づく目標

平成25年度を基準として令和12年度までに市の事務・事業における温室効果ガス排出量を50%削減することを目標とする。

温室効果ガス排出量 (実績と目標)



組 織 図



※ 1) 温暖化対策副総括者は、省エネ法のエネルギー管理統括者も兼ねる。

※ 2) 温暖化対策責任者は、省エネ法のエネルギー企画管理推進者も兼ねる。

※ 3) 温暖化対策管理委員会は、亀岡市庁議等に関する規則（平成15年亀岡市規則第15号）第4条第3項に規定する庁議の構成員のうち病院事業管理者及び市立病院管理部長を除く構成員をもって構成する。

温室効果ガス排出量（CO2換算）

※平成25年度を基準に令和12年度までに温室効果ガスの総排出量を50%削減する目標を設定

区分		単位	年度	数量	R5/H25 R6/H25	CO2排出量 (kg)	R5/H25 R6/H25	構成比
燃料使用量	ガソリン	ℓ	H25	46,026		106,779		0.4%
			R5	38,179	△17.0%	88,576	△17.0%	0.5%
			R6	36,689	△20.3%	85,119	△20.3%	0.4%
	灯油	ℓ	H25	333,425		830,229		3.4%
			R5	268,553	△19.5%	668,696	△19.5%	3.5%
			R6	276,953	△16.9%	689,613	△16.9%	3.3%
	軽油	ℓ	H25	97,586		251,772		1.0%
			R5	105,152	7.8%	271,292	7.8%	1.4%
			R6	101,980	4.5%	263,108	4.5%	1.3%
	A重油	ℓ	H25	83,316		225,786		0.9%
			R5	15,884	△80.9%	43,044	△80.9%	0.2%
			R6	4,499	△94.6%	12,192	△94.6%	0.1%
	LPG	m³	H25	10,555		63,015		0.3%
			R5	9,171	△13.1%	60,073	△4.7%	0.3%
			R6	9,116	△13.6%	59,707	△5.2%	0.3%
※ 電 力 使 用 量		kwh	H25	24,619,500		12,654,423		51.6%
			R5	22,142,177	△10.1%	7,158,459	△43.4%	37.7%
			R6	22,082,558	△10.3%	10,285,909	△18.7%	49.9%
公 用 車 走 行 量		km	H25	937,540		6,699		0.03%
			R5	931,290	△0.7%	5,903	△11.9%	0.03%
			R6	895,571	△4.5%	5,685	△15.1%	0.03%
一 般 廃 棄 物	焼却量 (廃プラスチック を除く。)	t	H25	21,411		362,286		1.5%
			R5	18,133	△15.3%	272,946	△24.7%	1.4%
			R6	17,217	△19.6%	259,153	△28.5%	1.3%
	一般廃棄物に含まれる 廃プラスチック焼却量	t	H25	3,286		9,085,790		37.1%
			R5	3,475	5.8%	9,608,375	5.8%	50.6%
			R6	2,945	△10.4%	8,142,925	△10.4%	39.5%
廃 棄 物 の 埋 立 処 分 量		t	H25	2,032		222,150		0.9%
			R5	479	△76.4%	160,188	△27.9%	0.8%
			R6	476	△76.6%	151,788	△31.7%	0.7%
下 水 処 理 量 (終 末 処 理 場)		m³	H25	9,668,773		673,720		2.7%
			R5	9,786,547	1.2%	656,090	△2.6%	3.5%
			R6	9,804,591	1.4%	657,300	△2.4%	3.2%
し 尿 処 理 量 (し 尿 処 理 施 設)		m³	H25	14,017		17,201		0.1%
			R5	0	皆減	0	皆減	0.1%
			R6	0	皆減	0	皆減	0.0%
浄 化 槽		人	H25	297		6,416		0.0%
			R5	212	△28.6%	4,794	△25.3%	0.0%
			R6	212	△28.6%	4,794	△25.3%	0.0%
合 計			H25			24,506,267		100.0%
			R5			18,998,436	△22.5%	100.0%
			R6			20,617,293	△15.9%	100.0%

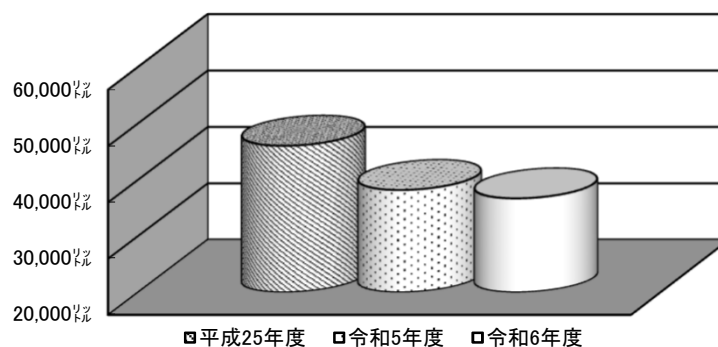
※電気事業者別排出係数は暫定版を使用。

令和6年度 環境マネジメント調査結果

○ガソリン使用量

数量

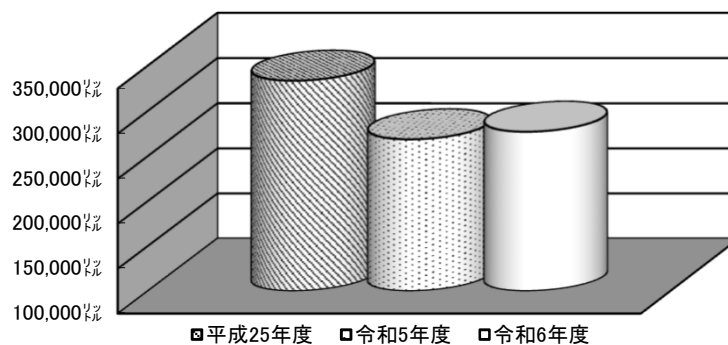
平成25年度	46,026ℓ	
令和5年度	38,179ℓ	(△17.0%) 平成25年度対比
令和6年度	36,689ℓ	(△20.3%) 平成25年度対比



○灯油使用量

数量

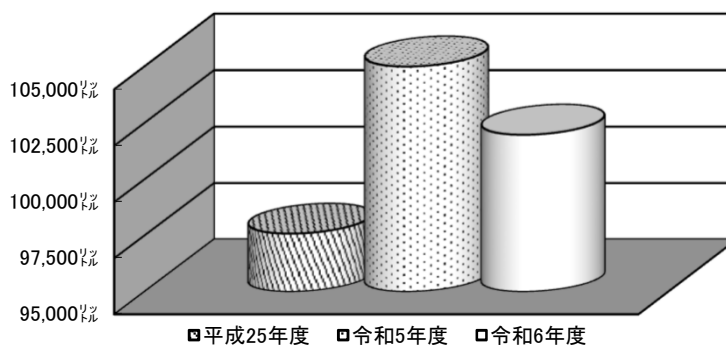
平成25年度	333,425ℓ	
令和5年度	268,553ℓ	(△19.5%) 平成25年度対比
令和6年度	276,953ℓ	(△16.9%) 平成25年度対比



○軽油使用量

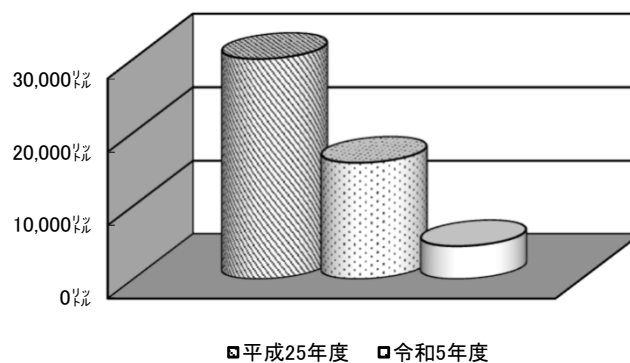
数量

平成25年度	97,586ℓ	
令和5年度	105,152ℓ	(7.8%) 平成25年度対比
令和6年度	101,980ℓ	(4.5%) 平成25年度対比



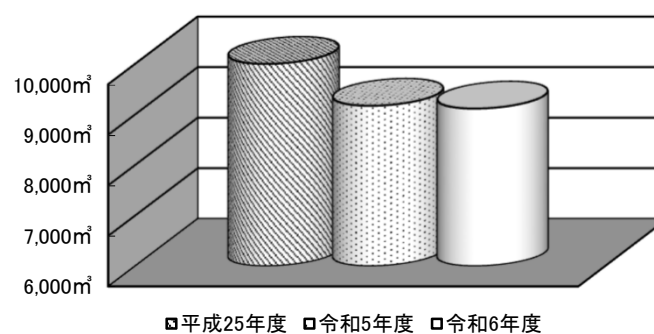
○A重油使用量

	数量	
平成25年度	83,316ℓ	
令和5年度	15,884ℓ	(△80.9%) 平成25年度対比
令和6年度	4,499ℓ	(△94.6%) 平成25年度対比



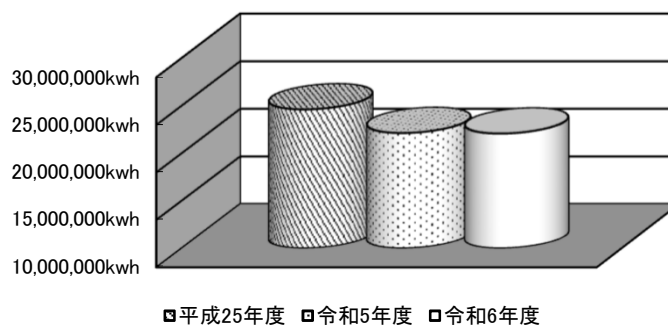
○LPG使用量

	数量	
平成25年度	10,555m³	
令和5年度	9,171m³	(△13.1%) 平成25年度対比
令和6年度	9,116m³	(△13.6%) 平成25年度対比



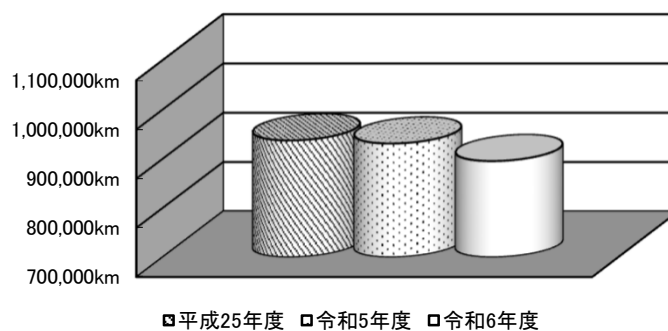
○電力使用量

	数量	
平成25年度	24,619,500kwh	
令和5年度	22,142,177kwh	(△10.1%) 平成25年度対比
令和6年度	22,082,558kwh	(△10.3%) 平成25年度対比



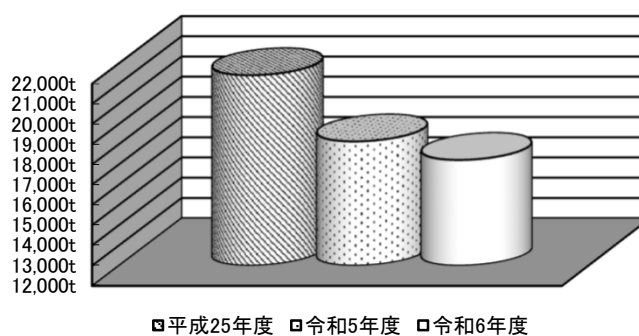
○公用車走行量

	数量	
平成25年度	937,540km	
令和5年度	931,290km	(△0.7%) 平成25年度対比
令和6年度	895,571km	(△4.5%) 平成25年度対比



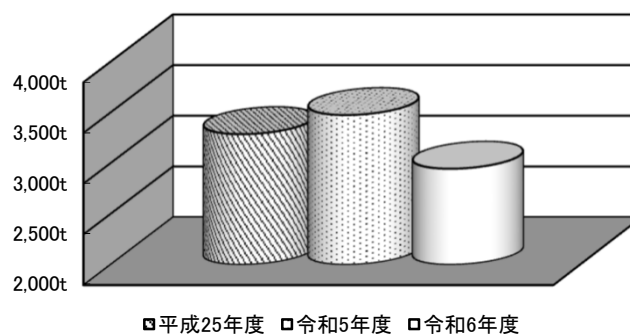
○一般廃棄物焼却量

	数量	
平成25年度	21,411t	
令和5年度	18,133t	(△15.3%) 平成25年度対比
令和6年度	17,217t	(△19.6%) 平成25年度対比



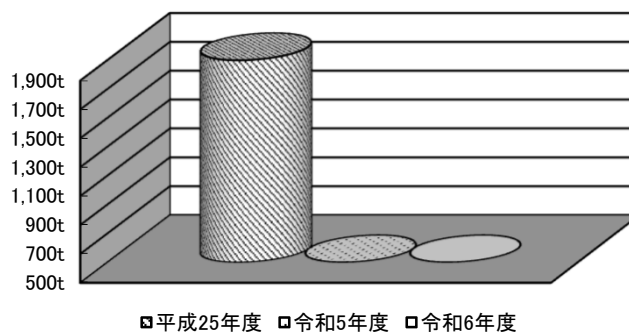
○一般廃棄物に含まれる廃プラスチック焼却

	数量	
平成25年度	3,286t	
令和5年度	3,475t	(5.8%) 平成25年度対比
令和6年度	2,945t	(△10.4%) 平成25年度対比



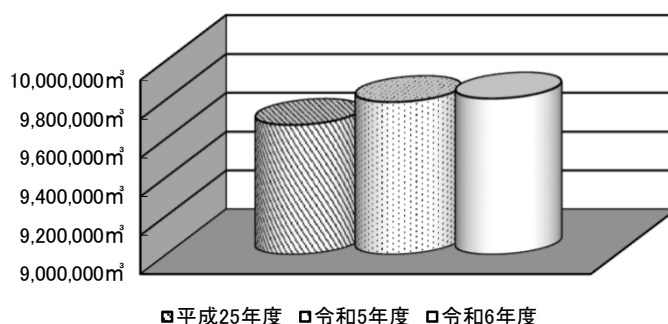
○廃棄物の埋立処分量

	数量	
平成25年度	2,032t	
令和5年度	479t	(△76.4%) 平成25年度対比
令和6年度	476t	(△76.6%) 平成25年度対比



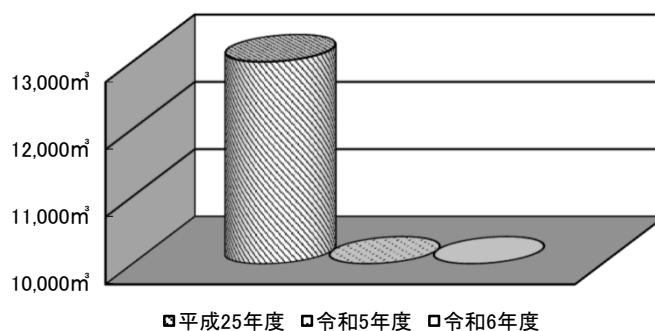
○下水処理量

	数量	
平成25年度	9,668,773m ³	
令和5年度	9,786,547m ³	(1.2%) 平成25年度対比
令和6年度	9,804,591m ³	(1.4%) 平成25年度対比



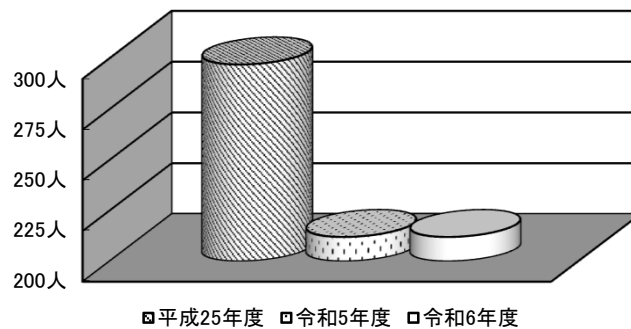
○し尿処理量

	数量	
平成25年度	14,017m ³	
令和5年度	0m ³	(皆減) 平成25年度対比
令和6年度	0m ³	(皆減) 平成25年度対比



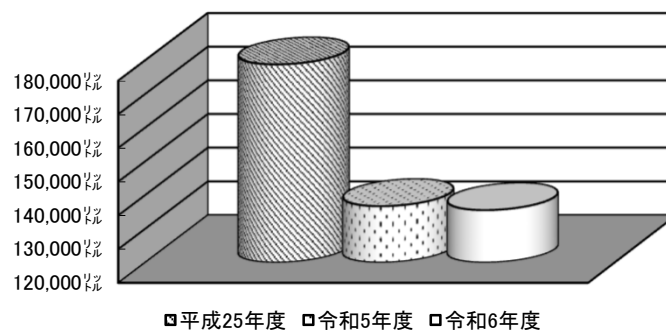
○浄化槽

	数量	
平成25年度	297人	
令和5年度	212人	(△28.6%) 平成25年度対比
令和6年度	212人	(△28.6%) 平成25年度対比



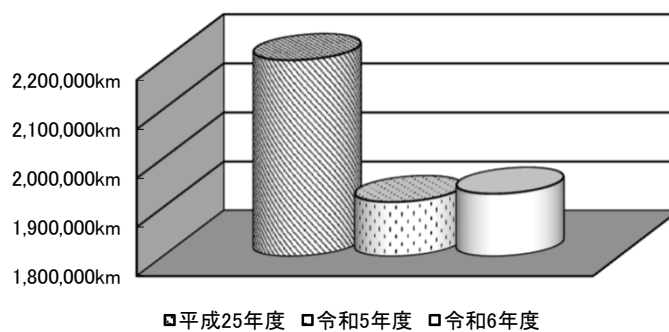
○職員通勤車の燃料使用量

	数量	
平成25年度	178,769ℓ	
令和5年度	136,685ℓ	(△23.5%) 平成25年度対比
令和6年度	135,519ℓ	(△24.2%) 平成25年度対比



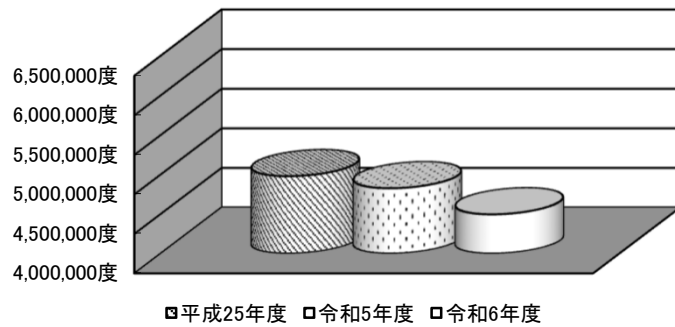
○通勤車走行量

	数量	
平成25年度	2,229,613km	
令和5年度	1,910,960km	(△14.3%) 平成25年度対比
令和6年度	1,927,857km	(△13.5%) 平成25年度対比



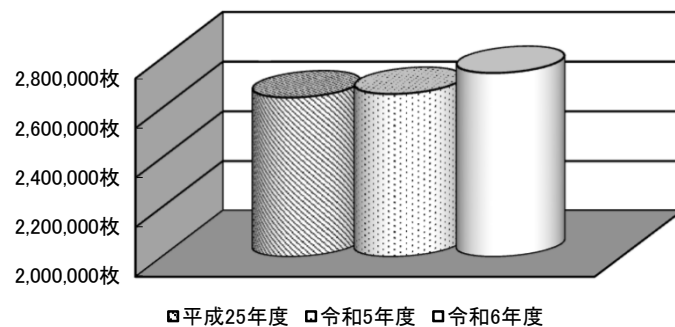
○コピー使用度数

	数量	
平成25年度	4,979,159度	
令和5年度	4,825,983度	(△3.1%) 平成25年度対比
令和6年度	4,495,562度	(△9.7%) 平成25年度対比



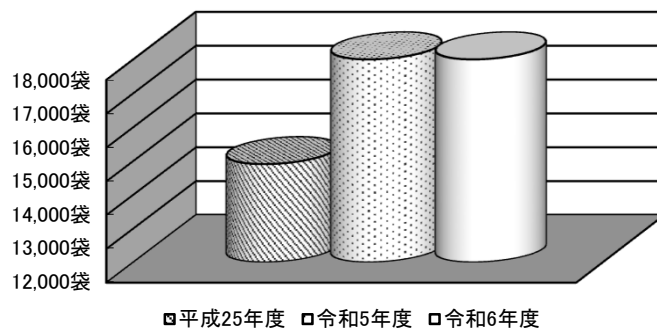
○コピー用紙購入量

	数量	
平成25年度	2,642,750枚	
令和5年度	2,657,001枚	(0.5%) 平成25年度対比
令和6年度	2,741,500枚	(3.7%) 平成25年度対比



○ごみ袋発生量

	数量	
平成25年度	14,908袋	
令和5年度	18,972袋	(27.3%) 平成25年度対比
令和6年度	19,896袋	(33.5%) 平成25年度対比



効果の確認

環境マネジメントシステムの実施結果の一部を金額で比較した場合（参考）

区 分	単価 ①	H25	R5	R6	差引 (H25-R6) 削減できた額
		数量②	数量②	数量②	
		金額 (①×②)	金額 (①×②)	金額 (①×②)	
ガソリン 使用量		46,026ℓ	38,179ℓ	36,689ℓ	9,336ℓ
	169円	7,778,394円	6,452,251円	6,200,441円	1,577,953円
灯油使用量		333,425ℓ	268,553ℓ	276,953ℓ	56,472ℓ
	130円	43,345,250円	34,911,890円	36,003,890円	7,341,360円
軽油使用量		97,586ℓ	105,152ℓ	101,980ℓ	△4,394ℓ
	140円	13,662,040円	14,721,280円	14,277,200円	△615,160円
A重油使用量		83,316ℓ	15,884ℓ	4,499ℓ	78,817ℓ
	125円	10,414,500円	1,985,500円	562,375円	9,852,125円
通勤車の燃料使用量		178,769ℓ	136,685ℓ	135,519ℓ	43,250ℓ
	169円	30,211,961円	23,099,765円	22,902,711円	7,309,250円
計		739,122ℓ	564,453ℓ	555,640ℓ	183,482ℓ
		105,412,145円	81,170,686円	79,946,617円	25,465,528円

※「削減できた額」は、各欄の数量に同じ単価を乗じて算出・比較したものであり、実際にかかった経費をたものではありません。

※燃料の単価は令和7年7月の契約単価で積算しています。

「通勤車の燃料使用量」欄の単価は「ガソリン使用量」欄の単価を用いています。

施設のエネルギー使用量について

部・室名	令和5年度	令和6年度	増減理由
生涯学習部	678.5	678.5	犬甘野では児童館から老人センターへの変更から電気使用量が増加していますが、ガレリアでは改修にともない大広間の貸出停止中のため電力が減少しています。部全体のエネルギー使用量は昨年度と同程度です。
総務部	504.4	465.9	電気使用量は夏場は冷房の稼働が多く増加していますが、10月に庁舎のLED化にともない減少しています。昨年と比較し部全体で38.5kl減少しています。
環境先進都市推進部	692.4	716.0	桜塚クリーンセンターにおける灯油使用量及び電力使用量の増加や、環境プロモーションセンターの開設に伴い、部全体として23.6kl増加しています。
市民生活部	69.4	85.4	火葬場の利用件数増加により灯油、電気使用量が増加しています。部全体で、電力使用量等の増加にともない、16kl増加しています。
健康福祉部	62.8	55.3	施設における、節電や施設のLED化による電力使用量の減少により部全体で7.5kl減少しています。
こども未来部	128.0	134.6	気候の影響から空調運転及び冷暖房の稼働が施設全体で増加し、部全体で昨年度と比較し6.6kl増加しています。
産業観光部	195.0	202.0	食肉センターや土づくりセンターの電力使用量や、燃料使用量の増加により昨年度と比較し7kl増加しています。
まちづくり推進部	201.2	192.7	気候の影響から空調運転及び冷暖房の稼働の増加や、公園利用者の増加により電気使用量が増加するも、施設や自由通路のLED化により、部全体としては8.5klの減少しています。
上下水道部	2,645.8	2,637.1	年谷浄化センターにおける重油の使用量減少や農業集落排水施設等の電気使用量が減少し、部全体として8.7kl減少しています。
合計 (kl)	5,177.3kl	5,167.5kl	-9.8kl

- ※ エネルギー使用量を原油換算 (kl) にして表記しています。
- ※ 施設を有する部等のみ対象としています。
- ※ 指定管理施設も調査対象としています。
- ※ 教育部・市立病院は省エネ法で別サイトとなりますので表示していません。

●令和6年度マネジメントレビュー（令和7年3月24日）

1 環境方針

基本方針「行動指針」において、新たに、「5. 2030年まで公共施設のLED照明の導入を100%にします」、「8. 熱中症対策として指定暑熱避難施設の指定を促進します」を追加すること

2 環境目的・目標

環境目的・目標については、変更なし。

3 環境に関する組織

現行の体制で運用を図ること。ただし、現状に合せた変更及び機構改革に伴う所要の整備を行うこと。

4 システムに関する要素

事務効率化を図るため、地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム（LAPSS）を用いたシステム運用の整備を行うこと。

5 その他

内部監査において、是正処置書の提出を伴う指摘事項はなく、システムの運用状況は概ね良好となっている。

今後も引き続き、「亀岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」及び省エネ法の「中長期計画」に基づき、地球温暖化対策に重点をおいたシステムの運用を図ること。

令和6年度の主な取組

年 月	内 容
令和6年6月	令和6年度 温暖化対策管理委員会を開催（6／3）
令和7年2月	内部監査の実施（2/3～2/26）